

時代と地域特性にあった土地利用の見直しを行い、 快適な住環境を整えます。

基本目標4 「ひとが集う、安心して暮らすことができる 魅力的なまちをつくる」



331-39 志免字典拠
W-254

吉原地区
職住融合による
コンパクトライフエリア

**職住融合による
コンパクトライフエリア**

- 新たな都市計画道路の整備により、増道を余儀なくされた
または余儀なくされる施設の受け皿の確保
- 市の活力向上に資する産業系施設の立地誘導
- 働き手の受け皿となる居住地の形成

■ これらの融合による町全体への経済波及効果を生み出す産業・産業・居住の融合による住み続けられるを目指す
■ 産業基盤の創出とともに地域振興、生活利便性の向上など、複合機能を導入することで都市の活力向上を図る

【事例】アグリサイエンスバレー一期地（茨城県常陸市）




想定される主な都市機能

- 産業・商業の複合型機能
- 居住機能

アグリサイエンスバレーの施設

- 観光農園ゾーン
- 大規模施設開設ゾーン
- 企業立地ゾーン
- 民間業客施設 等

広域からの集客施設や働く場、観光農園の整備など訪れる人・住民にとって魅力あふれる空間の創出



事業名	都市計画事務
事業費	8,100,000円(令和7年度)

【事業概要】

子どもからお年寄りまで、誰もが安心して快適に暮らせるまちを実現するため、時代と地域特性にあった土地利用の見直しを行います。

【主な内容】

▼吉原地区において、今後の土地利用の方向性や事業化に向けて、望ましい土地利用のための基礎的検証、整備手法の検討を行います。

【主なスケジュール】

令和7年度～令和8年度

土地利用方針検討のための調査や検証